



さんだファミリーサポートセンターだより

はぐくむ



通信 令和3年12月発行 No.54

今回は、ウッディ地区のNちゃん（5歳）と、ウッディ地区の協力会員Nさんの活動取材させていただきました。

週2回 幼稚園にお迎えに行き、習いごとへ送る活動です。この日は英語教室への送り込みでした。

依頼会員から 協力会員へのメッセージ

いつもお世話になりありがとうございます。毎回、協力会員さんのお迎えを楽しみにしています。帰宅後「今日はどんなお話をしたの？」と娘に聞くと「あのね！」とテンション高く楽しそうにお話をしてくれます。もう一人のばあばができたような、そんな気持ちで安心してお願いさせていただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

せんせい、さようなら

協力会員さん
幼稚園にお迎え到着



「これ作ったんだよ」
大きな袋の中を見せて
くれました。



活動のようす

教室に到着。先生のところまで送ります。



さつとジュニアシート
に乗って、慣れた様子
でベルトを着けていま
した。おしゃべりも沢
山してくれました。



協力会員の車に乗って
移動です。



協力会員から依頼会員へのメッセージ

Nちゃんは人見知りもなく、いろんなことに興味があり積極的なお子さんで最初からとてもフレンドリーにお話することが出来ました。

月一回お母様にもお会いし話をしますが、若い方との会話に脳が活性化します。

私にとっては、もうとっくに縁のないプリキュアの話を抱かしく思い出し、幼稚園の出来事を一生懸命話してくれる可愛い話しぶりにも癒やされています。

依頼会員さんより

ファミサポの利用を考えておられる方へ

両親共に仕事で夕方帰りも遅く、子どもを習いごとには通わせてあげられないと思っていました。

そんな時、ファミサポで送迎をしていただけたことを知りました。実際お願いしてみて、幼稚園へのお迎えから習いごと先への道中に、毎回暖かく声かけしてくださり、本当に有り難く感じています。

それぞれのファミリーの事情に合わせてサポートしてくださるようですので、お悩みの方は相談されてみてはいかがでしょうか。

協力会員さんより

ファミサポで支援をしたいと思う方へ

一度の顔合わせで大事なお子様を託すことを決めていただけたのは、ファミサポの長年の活動の実績と信頼のたまものと感じます。

活動内容は習いごとへの送迎を週2回、楽しくてあっという間です。

子どもを取り巻く社会が激動する中で、日々奮闘している子育て世代を、少しでもお手伝いできていれば嬉しいです。そして、ちょっとだけなら手伝えるという方が増えるといいなと思います。



～子どもと災害とその備え～

最近では異常気象が多くなり、自然災害は身近なものになってきましたが、突然の地震などはとても怖いものです。災害を子どもと一緒に乗り越えるために、今回はどんな備えがよいのか、サブリーダー同士で意見を出し合ってみました。

でハザードマップ
経路を、避難
と一緒、子ども
て一緒に確認し
おきましよう

非常用持ち出し品には、防塵だけでなく、感染予防に役立つマスクや、体温計、消毒グッズも入れておくといいですね。



非常用持ち出し袋の中身を定期的にチェックしています。日持ちして便利なアルファ米は賞味期限を確認しながら作り方も実践し、家族の好みに合った味のものを買い足しています。懐中電灯はLEDで首から下げたり、頭に付けられる形のものが便利だと思いました。

両手が空くと子どもと手をつないだり、抱っこができるよ!



アルファ米はアレルギー成分表示もあるので、子どものアレルギーに合わせて選べますよ。



我が家の近くに土砂災害の危険のある地域があるけど、備えはまだこれからです。避難場所へ行く道が狭くて危険を感じています。

日頃から食べ慣れている好きなビスケットを備えてます。賞味期限が切れないように順次食べて、買い足しています。

日持ちのする一口ようかんや乾物などを普段から食べて備えるようにしています。

避難所にもっていくおもちゃは周囲の人への気配りから、音が出ないものが良いですね。



ローリングストックがいいね!

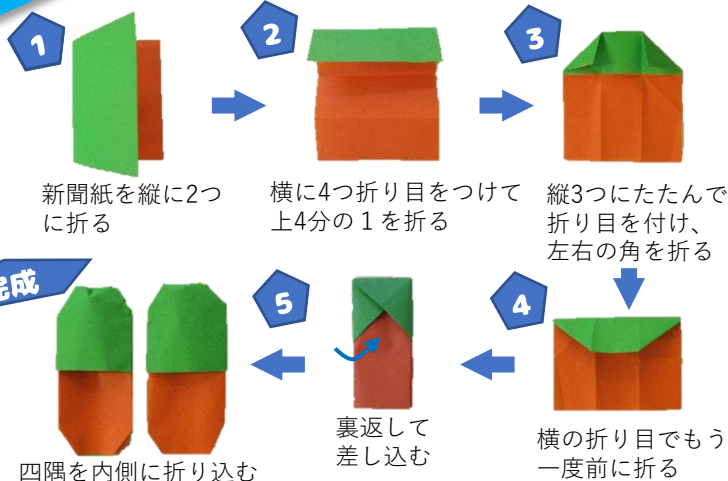
停電したら、冷蔵庫の開け閉めはできるだけしないで、冷凍庫は普段からいっぱいに入れておくことで解凍が遅くなりますよ。

災害用伝言ダイヤル(171)は、災害により電話が繋がりにくい状況になった場合に、電話から音声メッセージを登録・確認できるNTTのサービス。今は電話がなくてもパソコンからメッセージを残したり、見たりできるWEB(171)災害用伝言版も利用できます。

避難所や被災した家屋では、足元がケガをしやすいため、新聞スリッパを折れるようになっておくことで役立ちますよ。広告紙やカレンダーで作るとインクがつかなくて丈夫でおすすめです! 子ども用には紙のサイズを小さくしてください。

電気、水、ガスのライフラインが使えないときのために、普段から水とカセットコンロとカセットボンベの備蓄は大事だね。耐熱ポリ袋があると少量の水でごはんを炊くことができますよ。

新聞スリッパ



耐熱ポリ袋で炊く! 湯煎でごはん

①耐熱ポリ袋に米と同量の水をいれ空気を抜いて口を縛る



②鍋に耐熱皿を沈めて湯を沸かし、①を入れて蓋をして中火で約30分湯煎する



③袋を鍋から出して5分ほど放置。その後空気をいれるようにふくらませる

サブリーダーの阪神淡路大震災（1995年）の体験

夜明け前の突然の大地震。夫が仕事で不在の中、照明が落ち家具が動き、暗い中で子ども達に布団をかぶせて、その上に私が覆いかぶさる状態で明るくなるのを待ちました。空が明るくなり部屋から出ようとしたが、リビングのカーペットが波打ち、ドアを塞いでいました。何とかリビングに出ると食器棚から皿が滑り落ち、床一面ガラスの破片が散っている状態で、何とか家の中から出ようとしても、玄関も照明具が落ちていて、靴の中はガラス片でいっぱいでした。

＜この体験をふりかえって思うこと＞

災害直後に外に出て逃げるために、普段から底の厚いスリッパを使用したり、子ども達には、洗った外靴(普段履いている物)を袋に入れて、ベッドサイドや机の横に吊るしておく、いざとというときに安心です。



日常生活の中で「今、地震が起これたらどうする？」と家族や友人と言葉かけしながら、シミュレーションをするのも大事なことだね。



6月23、25、30日、7月6、9日 計5回 三田市社協子育て支援講座

感染対策をとって定員は半分に減りましたが、延べ59名の方にご参加いただきました。AEDや沐浴などの基本だけでなく、コロナ禍の妊婦の心理という時世にあわせた内容や災害時の乳幼児支援も今回初めて取り上げてみました。



「災害時の乳幼児支援」 赤十字幼児安全法指導員 大橋美奈子さんの講座より

赤ちゃんがえりして極端に甘える行動は、こころにストレスをかかえる子どもの正常な反応です。過度に心配しないで温かく見守りましょう。津波を経験した子どもが津波ごっこをしたりするのも同様で、無理に止めずに心の整理がつくよう優しく声かけしましょう。

ホットタオルの作り方

～災害時に少しのお湯でからだをきれいにするために～



ビニール袋にフェイスタオルを入れて熱湯100ccを掛ける



乾いたタオルにつつんで軽く押さえる
ホットタオルでからだを拭いたのち、乾いたタオルで拭きます

7月15日（木）

ファミサポ交流会「美骨ウォーキング®講座」

講師 からだLab Gooth 安藤恵子さん

ウォーキングの前に、身体のゆがみに合わせて、自分にあった靴ひもの通し方や靴選びのお話もしていただきました。時間の許す限り参加者からの質問もたくさん丁寧に答えて下さって、盛りだくさんな充実した会となりました。



会員状況

令和3年10月末現在（名）

地区名	依頼	協力	両方	合計
三田	82	22	14	118
三輪	97	50	12	159
広野	24	14	2	40
小野	7	6	0	13
高平	7	6	1	14
藍	26	28	4	58
本庄	4	3	0	7
ワラー	146	78	17	241
ウディ	335	124	57	516
加チャー	23	11	2	36
市内在勤	13	0	0	13
計	764	342	109	1,215

活動状況

令和3年4月～令和3年10月末（件）

内 容	計
保育施設の開始前、終了後の預かり	115
保育施設までの送迎	119
放課後児童クラブ終了後の預かり	164
学校の放課後の預かり	47
きょうだいの学校行事などの預かり	0
保護者の外出のときの預かり	0
登校前・児童クラブ前の預かり	4
子どもの習い事の送迎	348
保育所・学校などの休みのときの預かり	9
保護者の病気、その他急用時の預かり	18
保護者の短時間・臨時的就労時の預かり	0
その他	1
合 計	825

参加者募集!

ファミサポ交流会 私だけのバスボムをつくろう

お風呂にいれるとしゅわしゅわ〜とする入浴剤をつくります。
押し花で飾ったり、カップケーキのようなオリジナルのバスボムをつくりましょう。お子さん（4才以上）と一緒に参加できます。
両日とも同じ内容です。

と き：令和4年1月30日（日）10：00～12：00（受付開始9:45）
2月 2日（水）10：00～12：00（受付開始9:45）

と こ ろ：三田市多世代交流館 シニア・ユースひろば

対 象：ファミリーサポートセンター全会員および会員登録希望者

参 加 費：200円 定員：各回15名（申込多数の場合は抽選）

託 児：6か月～就学前児5名まで

申込方法：参加希望日、名前、住所、電話番号、お子さんと一緒の場合は子どもの名前、年齢、託児の有無を明記して、FAXまたはメールで。

締め切り：1月23日（日）

依頼会員も
協力会員も
ご参加お待ちしております!

●活動上のおねがい～新型コロナウイルス感染予防のために～●

- ・援助活動前に検温など体調確認をお願いします。本人ならびに家族に風邪などの症状がある場合は、活動をお控えください。その場合、感染予防を第一に活動がキャンセルとなることもありますが、ご理解をお願いします。
- ・活動時は手指消毒、うがいをしてマスクの着用をお忘れなく。
- ・預かり場所はこまめな換気をしましょう。
- ・3才以上のお子さんは、活動時のマスク着用にご協力ください。

社会福祉法人 三田市社会福祉協議会

さんだファミリーサポートセンター

〒669-1546

三田市弥生が丘1-1-2 サンフラワービル2F

三田市多世代交流館内 シニア・ユースひろば

TEL 079-559-8996 FAX 079-562-8424

Eメール famisapo@sanda-shakyo.or.jp

開所時間 9:30～17:30

（月、祝日 12/28～1/4は休み）



▲メールはこちらから



▲ホームページはこちらから